

読売新聞 12月27日掲載分

高垣真路の TeeBreak

エビデンス

医学用語と思いついて「エビデンス」という言葉、スポーツ界でも耳にするようになりました。証拠とか根拠、裏付けなどの意味です。テレビ放送で野球やゴルフの選手が打ち損ねると、「カラダが開いた」という解説一辺倒です。しかしスイングはカラダを開いて（回転して）振るのが当たり前なんです。その（証拠）にトツプロは、見てのとおり猛烈にカラダを開いて打ちます。

広告

打ち損ねの（根拠）は、ボールを打つ直前に腕が伸びきって（本来なら打ったあ



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「ボディターン」

（と）しまふ打ち急ぎで、「カラダが開いた」ことが失敗の本質的な（裏付け）にはなりません。昔、PGA（プロゴルフ協会）の講習会で、「弟子が質問したら『答えるけど、お前とは今日で終わりだ』と宣告する」と、著名プロゴルファーが話されました。エビデンスどころか質問したただけで、ジ・エンドの時代でした。（PGAティーチングプロA級）

年末年始
休まず営業
営業時間をご確認ください。
お正月三が日 福菓子プレゼント！
西の森ゴルフパーク 宇都宮市 駒生町1780-1
西の森ゴルフ 検索 ☎028-652-3344

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に
毎月最終金曜日に掲載されています。